

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第16回 勉強会 in 金沢

平成27年6月11日(木)から12日(金)に、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第16回勉強会」が新幹線開業の熱気冷めやらぬ、金沢市の金沢東急ホテルにて、第9回総会に引き続き開催されました。

《1日目》

1日目の勉強会には25団体78名(体験参加者、賛助・参与会員等含む)もの多数のみなさまに参加いただきました。

■ 開催地挨拶

開催地を代表して、金沢市長の山野之義さまより、「ようこそ金沢市におこし頂きました、心から歓迎申し上げます。金沢市には21世紀美術館がありますが、2年前に旭山動物園のある旭山市、武雄図書館のある佐賀県武雄市と協定を締結しました。この3者には共通点が3つあります、まずひとつは『市が施設整備をしたものであること』、ふたつめが『来場者数が概ね100万人あること』、みつめが『業態転換を図ったこと』です。3つの施設が全て明治時代からあったものですが、歴史という基礎になる部分はしっかりとしながら、『美術館や動物園や

図書館がこうあるべき』という既成概念を転換し、業態を転換しながら、その時代時代の人々のニーズに対応しているということで成功して来れたのだと思っています。



金沢市長 山野之義さま

また金沢市は先日楽天とも協定を締結しました。これは外からの刺激と今までの金沢市の経験と合わせることで新しい化学変化が起きるのではないかと、新たな化学変化を起こすことによって更に成長してゆかなければならないのだ、という思いで行ったものです。変化は厳しいもので、時には抵抗があるかもしれませんが、リーダーは進むべきベクトルを明確にして進まなければならないと思います。金沢のまちなかでも片町、香林坊、武蔵ヶ辻といった名所があり、今でこそ上手くいっていますが、大変苦労した時代もありました。そういったなか、金沢TMOが中心的役割を担い、新たな取り組みを行っているところです。

もうひとつ気を付けなければならないのは、いつまでも内輪で行っていたら絶対にダメになるということです。いろいろな方々と問題点等を共有化し、刺激を与え合うことが重要です。本日は日本全国から様々なまちづくり会

社のみなさまが参画されているとお聞きしております。課題をぶつけ合って、新しい方向性を見出して頂ければ、開催地として嬉しく思うところです。」とご挨拶がございました。

■ 取り組み事例の紹介

金沢市の取り組み事例の紹介として、金沢市 都市政策局 担当局長 企画調整課長の高橋信博さまから以下のご説明を頂戴しました。



金沢市 都市政策局 担当局長 企画調整課長
高橋信博さま

1. 金沢市の概要
2. まちづくりの方針-保存と開発の調和-
3. 伝統と創造のまちづくり-歴史都市・創造都市の認定-
4. 中心市街地活性化基本計画
5. 中心市街地活性化施策
6. 金沢の評価
7. 北陸新幹線 金沢開業 2015.3.14

ご説明ののち、次のやり取りがありました。

質問①：市中活計画の事務局体制は

回答①：商工会議所が中心となり、計画検討段階から市職員が参画・協力、担当部局としては都市政策局、企画調整課の5～6人が参画、なお専任体制は無し

質問②：中活計画における事業数は

回答②：2期計画で147事業、1期計画で約118億円、2期計画の2か年で約90億円の事業を実施

質問③：金沢ふらっとバスの事業運営形態は

回答③：運行は民間ベースでは厳しく、市が鉄道会社に委託(9,140万円/年)

■国からの情報提供

「地方創生への取り組みと中心市街地活性化の現状」

ー内閣府 地方創生推進室 下津 加容子 氏

- 1.「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義
 - ・地方への多様な支援と「切れ目」のない施策の展開
 - ・国と地方における人口ビジョン・総合戦略の構成
 - ・地方人口ビジョン策定等のプロセスのイメージ
- 2.地域住民生活等緊急支援交付金
- 3.地方創生先行型交付金(基礎交付分)における要望事業【中心市街地活性化関連】
- 4.中心市街地活性化制度の概要
 - ・認定を受けた市及び認定計画数
 - ・最終フォローアップ(平成23～25年度)の概要
 - ・中心市街地活性化の目標達成事例【日向市(宮崎県)】、【大野市(福井県)】

「経済産業省における中心市街地活性化の支援について」

ー経済産業省 商務流通保安グループ 中心市街地活性化室 山北 和徳 氏

- 1.中心市街地活性化基本計画の認定状況
 - ・マップ及び一覧表
- 2.中心市街地活性化法の改正概要
- 3.特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の認定
 - ・日光市の事例 ・八戸市の事例
- 4.人材育成事業
 - ・研修会場 ・オープン会議 ・まちげんきフェス
5. 参考(予算等)
 - ・中心市街地再生事業費補助金(H26 年度補正)
 - ・中心市街地再生事業費補助金(H27 年度当初)
 - ・まちプロデュース活動支援事業
 - ・中心市街地活性化のための税制措置の延長
 - ・日本政策金融公庫からの低利融資(企業活力強化資金)
 - ・地域商業自立促進事業



「まちづくりに関する施策について」

ー国土交通省 都市局 まちづくり推進課 官民連携推進室長 中村 健一 氏

- 1.コンパクトシティの形成について
 - ・都市の現状と課題(地方都市)(大都市)
 - ・コンパクトシティか？
 - ・コンパクトシティをめぐる課題
 - ・都市再生特別措置法等の改正(概要)
 - ・立地適正化計画のイメージ
 - ・立地適正化計画の作成に取り組む都市
 - ・コンパクトシティ形成支援チームの設立
 - ・コンパクトシティ形成支援チームの開催実績と今後の予定
- 2.中心市街地再生の推進
- 3.まちづくりに関する支援制度(まちづくり推進課所管事業を主として)
 - ・民間まちづくり活動促進事業
 - ・都市環境維持・改善事業資金融資(エリアマネジメント融資)
- 4.まちづくりに関する情報提供
 - ・まちづくり法人国土交通大臣表彰
 - ・まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰
- 5.今後の都市のあり方について
 - ・社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会への諮問について
 - ・新たな時代の都市マネジメント小委員会
 - ・小委員会の検討の進め方
 - ・大都市戦略検討委員会

■ 参与会員からの活動紹介

「中心市街地活性化における公的セクターの支援について」

一 独立行政法人都市再生機構

全国まちづくり支援室 地方都市戦略チーム

主査 羽藤 和紀

一 一般財団法人民間都市開発推進機構

企画部 企画課長 伊藤 俊雄

1. 国土交通省所管の公的セクター4団体の紹介

・ 専門家派遣支援

2. UR都市機構の支援メニュー

・ 都市再構築支援

・ 取組事例 静岡県藤枝市

・ 取組事例 福岡県飯塚市

・ 取組事例 新潟県長岡市

3. 区画整理促進機構の支援メニュー

・ 街なか再生助成金(制度概要)

・ 街なか再生助成金(助成事例)

・ 中心市街地活性化講習会(実績一覧)

4. MINTO機構の支援メニュー

・ メザニン支援業務

・ まち再生出資業務

・ 共同型都市再構築業務

・ 住民参加型まちづくりファンド支援業務

5. 再開発協会の支援メニュー

・ 債務保証制度

・ 街なか居住再生ファンド出資(事例)

■ 意見交換会(15:45~17:00)

今回の勉強会では、各会員で抱えている課題等の解決の一助を目的に、意見交換会を行いました。

会に先立ち、事前に組織や事業の状況、現状の課題等を記入する「意見交換シート」にご記述・ご提出いただき、その内容に応じて、1テーブル8~9名、7つのテーブルに分かれ、意見交換を行いました。

まちづくり会社の後継者問題や新たな事業展開を行う上での課題、実際に行った事業の成功例の紹介など、どのテーブルも活発な意見交換が行われました。



■ 交流会

同会場にて、金沢市経済局長八田さま並びに連絡会議副会長の(株)黒壁取締役執行役員の高橋さまによるご挨拶、国土交通省北陸地方整備局建政部都市・住宅整備課長の栗原さまの乾杯から交流会は始まりました。



金沢産の美味しい食事と飲み物を楽しみながら、自由闊達な意見交換がなされ、盛大な交流会となり、最後は、監事の(一財)柏市まちづくり公社石戸理事による締めで閉会となりました。

《2日目：現地視察》

2日目の現地視察は参加人数(65名)の関係から、「武蔵地区」と「香林坊地区」の2つのルートに分かれて、現地視察を行いました。

①近江町市場

1721年に近江商人が始めたことに由来。金沢の食文化を支える「市民の台所」として親しまれ、約2.8haの敷地に主に鮮魚、青果等の店舗約180店が軒を連ねている。



近江町いちば館管理組合の方には、様々なご質問にご対応いただき、大変詳しいご説明をいただきました。



▲いちば館2階からの市場を望む

②近江町いちば館

(延床:16,500㎡、鉄骨鉄筋コンクリート造、5F;B1F)
近江町市場の一角で再開発事業や民都機構の出資制度を活用して、整備されたビル。1階は従来からの市場や店舗を主体とした物販・軽飲食店が配置され、3階及び4階は市の公共施設「金沢市近江町交流プラザ」として市民の交流等にも利用されている。



③めいてつ・エムザ(黒門小路)

近江町市場から道路を挟んで反対側に位置する地下1階・地上9階の百貨店。平成26年には1階フロアの大規模改装を行い、北陸の銘菓や名産品を扱う「黒門小路」がオープン。近江町いちば館とは地下通路でつながっている。

④横安江町商店街

金沢別院の門前町らしく仏壇店や法衣店なども多く、多様な店舗が軒を連ねる。老朽化したアーケードを撤去し、街路整備事業を活用し、「金澤表参道」として整備。コミュニティバス「金沢ふらっとバス」が通行するトランジットモールとしても活用されている。

⑤金沢駅武蔵北地区市街地再開発事業

昭和51年に都決。5つの再開発事業ビルの建設と駅前通り線の拡幅(4車線化)を実施、平成25年3月末に完工。

(A)ライブ1(第一工区) S61年完成

住宅・店舗/地上11F;B1F/延床:13,516㎡

(B)リファール(第五工区) H8年完成

住宅・店舗・事務所・公益施設/地上18F;B3F/
延床:56,500㎡

(C)ルキーナ金沢(第二工区) H14年完成

住宅・公益施設/地上13F;B1F/延床:7,980㎡

(D)みやび・る金沢(第四工区) H19年完成

住宅・店舗/地上13F/延床:11,000㎡

(E)やわらぎ金沢(第三工区) H25年完成

住宅・店舗/階数11F;B1F/延床:13,516㎡



⑥ プレーゴ

500坪の遊休地を活用し、国・県・市の補助制度を活用し、TMO(金沢TMO)による全国初のテナントミックス事業として整備された商業施設。新幹線開業を見据え、平成24年度にリニューアルを実施。現在、物販6店舗、飲食2店舗が営業。



⑦ 片町きらら(片町A地区再開発事業)

平成26年度に閉館した「ラブロ片町」跡地において、現在工事中の再開発事業による複合商業ビル。地上6階、地下1階建、延床 15,000 m²、1～3階は物販、4・5階にブライダル施設が開業予定。平成27年9月に1～3階の物販施設が先行して開業予定。

⑧ 金沢学生のまち市民交流館

大正時代の金澤町屋を改修された「学生の家」と、旧料亭大広間の部材を用いて新設された「交流ホール」の二つの建物からなる貸館施設。

まちなかに学生を呼び込み、地元の歴史を感じられる活動の場を創ろうと、平成24年度に金沢市が設置。

学生団体や金沢市と協働でまちづくり活動を行っている団体は無料で利用できる。

(敷地面積:約 1,460 m²、「学生の家」延床約 600 m²、「交流ホール」延床約 300 m²、総事業費:約4億7,700万円)



⑨ タテマチストリート(堅町商店街)

北陸最大のファッションストリートとして知られ、街路整備された全長430m幅4.3mの通りに、約200店舗の物販・飲食店が軒を連ねる。正午から19時までは歩行者天国となり、ファッションショーや屋台、音楽等の様々な商店街イベントを開催している。



⑩ 金沢21世紀美術館

平成16年に新たな文化発信拠点として、金沢市が設置した現代美術館。地上1階・地下1階建、円形(直径 112.5m)総ガラス張りの建物が特徴で、「まちに開かれた公園のような美術館」がコンセプト。

館内は、無料で観覧できる「交流ゾーン」と、有料の「展覧会ゾーン」に分かれており、カフェや託児スペースも完備している。平成22年にはブリツカー賞を受賞(設計者SANNA)、また平成24年には「訪れたい国内・海外の美術館・博物館ランキング」10位に選出された。



北側入り口より撮影



▲無料の「交流ゾーン」からも観覧できる『スイミング・プール』
あたかも深く水で満たされているかのように見えますがガラスの下は水色の空間となっていて、鑑賞者は内部にも入ることができます。

⑪せせらぎ通り商店街

金沢特有の曲線状の水路(鞍月用水)沿いにある商店街。景観整備により、落ち着いた雰囲気の中、まち歩きが楽しめ、飲食店を中心に様々な店舗が軒を連ねる。通りや広場を活用し、様々な商店街イベントが開催されている。

観光名所の一つである長町武家屋敷界隈にも隣接している。



▲通りの名前通り、歩くとせせらぎの音が非常に心地よい



▲せせらぎ通りに隣接する、長町武家屋敷界隈

⑫香林坊ラモーダ

平成23年に開業した市松模様の外観が特徴的な地上9階建の複合ビル。

1・2階はセレクトショップ「ビームス」や「ジャーナルスタンダード」が入店し、3階はカフェと金沢ケーブルネットテレビのスタジオが、4階には北国新聞社文化センターのダンススタジオとマルチスタジオが配置されている。



▲市役所前での説明

■最後に

第9回総会・第16回勉強会を金沢市で開催するにあたり、北陸新幹線開業に関連したイベント等で非常に忙しいなか、金沢商業活性化センターのみなさまはもちろん、金沢市や片町商店街振興組合、近江町市場商店街振興組合、青草辻開発(株)のみなさまにも事前準備を始め、当日の運営に取り組んでいただきました。

その取り組みのお蔭で今後のまちづくりの参考となりました。事務局一同、改めて御礼を申し上げます。

今回現地見学としてご報告した場所以外にも、金沢にはまだまだたくさんの魅力があるようです。

次回は2015年秋頃に勉強会を予定しております。詳細が決まりましたら、ご連絡させていただきます

